

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1190900199		
法人名	グリーンライフ株式会社		
事業所名	グループホームグリーンライフ栗橋		
所在地	久喜市栗橋1342-1		
自己評価作成日	令和8年1月28日	評価結果市町村受理日	令和8年4月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート		
所在地	東京都練馬区東大泉3-37-2		
訪問調査日	令和8年2月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

田園風景に囲まれた平屋建てで廊下が40メートルと長い建物です。廊下を他のフロアー迄歩いて行ったり、車椅子で自走したり歩行器や杖で歩いたり皆それぞれです。施設の周りは前が田園風景が広がり、後ろは畑で地主様が1年を通して家庭菜園に精を出しております。緑の景色が一面に広がり、すぐ近くには家が無いので気兼ねなく過ごす事ができます。道路に出るとすぐ125号線が有り下るとすぐ4号、上ると3号線になります。面会は自由なのでいつでも家族に会う事ができます。イベントは地域のボランティアさんが恒例行事として来所しますので懐かしの歌をオルガンに合わせ皆さんで合唱しています。楽しく穏やかに笑顔で過ごせるよう支援に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

●法人およびホームのホームページが公開されており、広く情報が発信されています。特に「施設のアルバム」と題したページは頻繁に更新がなされており、そば打ちやコンサートなど利用者が生活を楽しむ姿を見ることができます。
●利用者が主体となった共有スペースへの飾り付けは、季節感と温かみをもたらしています。利用者と職員と一緒に居場所づくり・環境形成を行うことで、ユニットそれぞれの特長や色が醸しだされています。
●看護師資格を有する職員を中心に医療機関との連携・感染症対応・健康維持がなされています。低栄養状態からの脱却・適切な排せつなど日々の生活の中から改善・向上を図れるよう支援に取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の理念を玄関に掲げ職員が意識できるようにしています。朝夕の申し送りでも唱和しています。	運営法人の変更から「衣食住にこだわる」・「利用者に寄り添う」支援を進めている。事業所内研修の充実を図り、その浸透を図るよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアさんが1, 2カ月に1回来所して下さるので自然と交流が深まっています。	認知症カフェは、多数の方々が来訪し、関係機関との連携にて開催されている。また、歌唱・そば打ちなどボランティアの方々の来訪と活動の様子は、ホームページのアルバムから確認することができる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	内部や外部でも認知症の研修に参加したり、年1回は地域包括支援センターさん主催のオレンジカフェを当施設で開催して認知症の理解や支援方法を地域の方々と話し合っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括センターを始め地域代表やボランティア団体に声を掛け、ホームの様子や健康状態・身体拘束の実態について報告したり、活動報告も行いながらご意見ご希望等もお聞きしサービス向上に活かしています。	行政、地域包括支援センター、民生委員、家族の方々を招待し、定期開催がなされている。報告や話し合いだけでなく、イベントを盛り込むなど開催への工夫に取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には介護保険課や地域包括センター職員に毎回参加して頂き、活動の報告やご意見を頂いています。	利用者の安定した生活のため、行政と協働した支援を図っている。また、地域包括支援センター、病院、居宅介護支援事業者等関係機関との連携が図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回身体拘束廃止委員会を開催し職員全員が記録を確認する事となっており押印された議事録を本社へ送って確認しています。	委員会の開催・事業所内研修の実施を通して身体拘束をしないケアへの認識を深めている。特にスピーチロックへの留意など職員自身が気づかずになされている事項については、職員が相互に注意し合える環境形成を目指している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と同時に委員会を毎月開催し、終了後は職員全員の確認印が押された議事録を本社へ送っています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人を利用されている方がいる為実践的に理解するよう勤めています。判らない事は後見人さんにお聞きしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は全文復唱し十分な説明をし、時間をかけています。質問があるか必ずお尋ねし、疑問点がある時は十分な説明をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常からご利用者の状況を密に報告しコミュニケーションをとり、面会時に気軽に話して頂けるような雰囲気を作っています。	家族には毎月便りを送付し、日々の様子を写真やコメントにて伝えている。本評価の家族アンケートにおいても明るく・丁寧なケアに対して感謝の言葉が多数寄せられている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス、全体会で困っている事、改善した方が良い点について議題として出せるようにしています。	毎月、ミーティングを開催し、法人の決定事項の報告や事業所内研修が行われている。職員個々のレベルアップを図るよう看護師を中心に医療知識の研鑽にも取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人が年度始めに目標を立て提出する事となっており、半年に一度目標達成に向けた評価と面談を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で行う法定研修と共に役割に応じた実践研修の機会が法人により提供され、外部の研修にも積極的に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内の複数の事業所にて会議があり運営や経営に向けた話し合いを行っている。合同でのイベントや相互に訪問したりと協力の体制が出来ている。法人外の研修にも参加して、交流の機会を作り、活動を通してサービスの向上を図っています。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が表現しきれない部分は、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、ご家族から情報収集を行い、会話の糸口を探り信頼関係を構築していますがプライバシーにこだわる方もおり、聞けない部分もあります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所相談時、ご本人の実態調査時、入所時、入所後に、ご家族との面談の時間を設けさせて頂き、信頼構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実態調査やご家族との面談時に得た情報のもと、入所後の課題も含めご本人、ご家族の意向に添ったサービスの提供に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能に応じた役割を分担し、安全面に配慮した支援をしながらご利用者、職員が同じ目線に立ち、笑顔や笑い声の耐えない心地よい暮らしを実践しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	体調の変化があった時は密にご家族に報告しています。定期的に面会される方もおりますが、毎月個人便りをお送りして、近況をお知らせしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人が面会に訪れる方がいます。ご本人も懐かしくて笑顔になっています。	入居前からの趣味が継続できるよう家族に協力を依頼するなど支援がなされている。また、パズル・お手玉など興味があるものを提示し、あらたな「馴染み」ができるよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「一人ひとりが孤立しないように毎日フロアーに集まり会話や体操をしたり、歌をうたったりのレクレーションを行い、他者と関わって頂いています。意見の合わない方もいるので席替えや声掛けしながらより良い関係を支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域密着型なので、ご近所の方が多く入所されているので退所後もご家族が近況を知らせて下さる方もおります。いつでもご相談や支援の対応に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	全職員がご本人との会話の時間を心がけています。その中で、希望や意向をくみ取り、ご本人が表現しきれない部分はご家族からの情報収集で補完してサービス計画書に反映しています。	それぞれのユニットの特徴を活かしながら、職員との信頼関係を基に意向の聴取がなされている。家族等に対してもケアプラン更新時を中心に潜在する要望を引き出せるよう取り組んでいる。	業務支援ソフトの導入により各種効率化が図られた一方、デジタル機器使用ならではのデメリットも認識している。活用方法の指導を継続していくことを目標としている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入所当初はソーシャルワーカー、ケアマネジャー、ご家族から情報を得ていますが、生活していく中で、ご本人から得られた情報は日々の申し送りやケースカンファレンスで出し合って把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態を把握して対応、介護記録に記録し日々申し送っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングやカンファレンスは複数の職員で2、3ヵ月に1度又は随時行っています。提携医師は月2回の往診時に健康上の留意点を、ご家族は電話や面会時に意向の確認をして介護計画に反映しています。	プラン策定により、方針設定、意向聴取、目標設定が丁寧かつわかりやすくなされている。ケアプラン更新の機会を活用し、転倒・誤嚥などのリスクについてもさらに説明していく意向をもっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご本人との会話の中で日々の様子や気づきを記録します。毎日の申し送りやモニタリング、カンファレンス時に共有しながら新たなサービス計画書を作成。サービス計画書をファイルにも転記して実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望を第一に考えています。歩きたい時、行きたい方向へ歩いて頂く等、抑止のない介護を目指しています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方々にはたびたび施設訪問して頂き、理解と協力を得ながら、変化のある日々を支援しています。ボランティアさんのイベント訪問はとても喜んでおられます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	居宅療養管理指導で医師と薬局と提携、月2回の往診の他、緊急時の往診、薬の処方、他、歯科医師や歯科衛生士の往診等適切な医療を受けられるように支援しています。	看護師資格を有する職員を中心に医療機関との連携・往診対応等体制を整えている。必要に応じ、内科以外の受診、訪問マッサージ、訪問看護事業者の利用をし、健康維持を支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の暮らしの中で、変化があった時は非常勤看護職に相談したり、介護支援専門員や介護職員が提携医師と連絡しています。、提携医師も24時間対応して下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の入所者様に面会したり、担当の看護師、医療ソーシャルワーカーにも定期的にお会いして状態把握に努めています。施設の受け入れ態勢についても随時お伝えし、円滑な再入所に備えています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	提携医師より許可がでない医療処置が生じた場合は終末期ケアは困難です。施設での終末を希望する方も増加し提携医師の判断で対応できる範囲であれば、ご家族と話し合いを持ち、重度化や終末期でも対応しています。	重度化や終末期の支援に対しては、揺れる気持ちに寄り添い、利用者・家族の実感や理解を大切に進めている。提携医師と話し合いながら慣れ親しんだ本ホームでの暮らしを維持できるようケアに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルで研修を行っています。体調の変化があった時はその時の対応を日々申し送りし、医師にも早い段階で報告しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行い、マニュアルでも研修しています。運営推進会議でも組み入れ、地域の皆さんとよりよい避難方法を確認しています。	定期的な避難訓練の実施により、災害時の具体的な避難方法等について確認と備えがなされている。水害については早期対応の重要性を認識しており、法人他施設との協調をもって万一の事態を想定している。	夜間帯における災害対応・招集可能な職員範囲など確認の必要性を認識している。予定する避難訓練時におけるあらためての確認を予定している。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊厳を尊重し入所者様と全職員が同等の立場に立って人格を尊重した介護支援を心掛けています。イヤな気持ちになるような言葉は使わない様研修していますが、時には良くない言葉かけも聞かれます。	日々の支援時から接遇については繰り返しの指導をもって取り組んでいる。委員会での指導と併せて接遇マナー研修を実施しており、職員相互に留意しあえる関係性の構築を目標としている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全職員がご本人との会話の中で、1人ひとりから思いや希望をお聞きして、自己決定に至るよう努め、反映に心がけています。好物を聞くと返答があるので、誕生会等で反映していますが、返答できない方もいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人で孤立しないように、フロアーに出て毎日の体操の声掛け、又ご自分のペースで役割をもった生きがいのある楽しい生活が送れるよう援助しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族が持参した気候に合わせた服装や身だしなみを整える介助、洋服のコーディネート等支援しています。ご自分で好みの洋服を選択する方も何人かおられます。寒がりの方が多く、何枚も重ね着して汗をかいている方には声掛けします。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後の茶碗拭き等、残存機能や能力を勘案し、できる事はして頂いています。お誕生会やイベントがある時は、皆さんに好物をお聞きして雰囲気を変えた食事を工夫しています。	利用者・ユニットそれぞれの特長を活かし、食器拭きなどの家事参加がなされている。食席の配置・パン食の準備・行事食の提供など利用者の楽しみが増えるよう寄り添う支援に取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入所者様には基本同じ物を召し上がって頂いていますが、糖尿病等の病気や体力、身体状態に合わせて分量や食事形態を変えています。水分を欲しがらない方は、声掛けをしたり介助しながら飲んで頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ご自分で出来る方は声掛けして行って頂いています。義歯の取り外しやうま歯磨きのできない方は介助しています。舌の汚れがある方は歯磨きのできる方でも介助しています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的声掛けや日中のトイレ誘導介助でパッドの使用量削減を心掛けています。、訴え時や定期でトイレ誘導しますがトイレでの拒否が強い方もいるのでタイミングが難しいです。	特に夜間帯においては、サニタリー用品や排せつの方法の変更を行い、利用者の能力や意向に沿った支援に努めている。なるべく自立への意識と利用者のペースを大切にしたい支援を意識し、方針に即した見守りと対応に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	規則正しい手作りの食事と十分な水分補給の声掛け、便秘の解消としても体操は毎日行っています。3日以上便秘時は、便秘薬を検討し対処しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	全員特浴をしています。ご自分で洗身出来ない部分を介助しています。拒否がある場合は声掛けを行い強い拒否がある場合は他日に行っています。	機械浴槽を有しており、利用者の重度化への対応を可能としている。利用者自身の出来る動作を大切に、なるべく自身で洗身してもらうよう・安全な入浴となるよう支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日常、フロアーで皆さんが過ごされますが体調不良や寝不足の方は昼間でも居室で寝て頂いたり、テレビを見ている方もいます。夜間頻尿の方もいるのでご本人、職員もつらい所です。提携医師と連携を取り眠剤を服用する方もいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を薬情ファイルに挿入して、いつでも確認できるようにしています。往診後は、往診の様子や、薬が変わった方は別紙に書き入れて皆で確認共有し誤薬の防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションや体操は皆さんで毎日実行しています。残存能力に応じて食事後の茶碗拭き、洗濯物干しやたたみ等出来る方はして頂き、役割を持つ事で張りのある生活を支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族や知人と外出する方もおります。車椅子使用者も多く、皆さんで頻繁に外出することはできない状況です。年1回は皆さんで外出する機会を設けています。	お花見・ショッピングモールでの外食等イベントを中心に皆で外出を楽しめるよう努めている。ホーム前には見晴らしの良いスペースがあり、日常的に外気を浴びることができる恵まれた環境を有している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症があるのでお金や貴金属の管理はトラブル防止のためしていません。1人での買い物はしていませんので、職員との外来受診時に一緒に買い物したり、必要な物を家族や職員に依頼する方もいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設の電話でご本人と家族と話をしている方もありますが、同じ事を何度もかけているとご家族から聞いています。ハガキ等が届いた時は、職員が読んでご本人に渡しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中はフロアーで過ごしているので、知人や職員がお花を持参して数人に生けて頂いています。日当たりが良い場所では採光に注意し、換気や温度にも十分配慮しています。職員が四季の行事を計画して季節感を味わって頂いています。	利用者が主体となった共有スペースへの飾り付けは、季節感と温かみをもたらしている。利用者と職員と一緒に居場所づくり・環境形成を行うことで、ユニットそれぞれの特長や色が出ている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お話の出来る人同士で席を隣にしたり、近くにして会話して頂いています。1人ひとりの居室があり、自由に出入りして休んで頂いたり、テレビを見てる方もいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理タンスやベッドはホームで用意していますが布団等は持参して頂いています。写真や時計、ラジオ、仏壇等ご自分が使用していたものはお持ち頂き、家にいる時と変わらない雰囲気作りを心掛けています。	家庭での生活の延長を意識した居室形成に取り組んでいる。特に家具の配置にあたっては、安全と過ごしやすさへの配慮を理解することができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設は2ユニットで木造平屋造りです。40メートルと長い廊下を他フロアーに歩いて行ったり、入浴やトイレ時は車椅子で自走したり、職員の手引きで歩いているので環境整備に配慮し安全を心がけて、下肢筋力低下を防止しています。		

(別紙4(2))

事業所名：グリーンライフ栗橋

目標達成計画

作成日：令和8年4月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	23	記録システムの導入により、業務効率は向上した一方で、紙媒体で行っていた記録確認の習慣が希薄となり、職員間の情報共有にばらつきが生じている。	全職員が毎勤務時に必要な記録確認を行い、情報共有の徹底を図る	・記録確認のルールを明文化する ・月間目標に掲げ、申し送り時に唱和し、意識を付ける ・会議やカンファレンスで記録内容がケアに反映されているか、利用者の変化(体調・行動)を把握した対応ができているかを確認しあう	6ヶ月
2	35	・夜間帯に自然災害などが発生した場合の対応が明確でない ・人も少なく職員ごとの対応力に差がある ・実践的な訓練機会が不足している	夜間帯においても安全確保を優先とした体制を整備する	・夜間・緊急時の応援要請フローを整備 ・夜勤者向けの対応フローチャート作成 ・応援要請を含めたシミュレーションや実践的な訓練の実施(年2回以上)	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。